

重点課題6 男女共同参画の視点に立った貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備

施策の方向 (1) 貧困等生活上の困難に直面する女性等への支援

施策の方向 (2) 高齢者、障がい者、外国人、子ども等が安心して暮らせる環境の整備

1 統計情報等

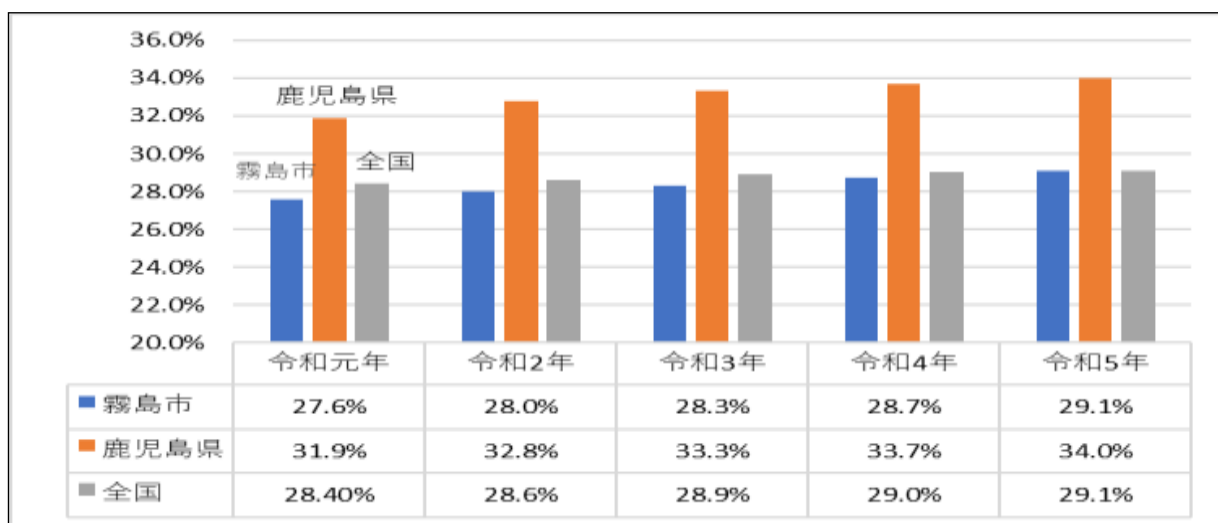
(1) 要介護（支援）認定者数の推移

区 分	年 度	R3	R4	R5	前年度増減 (R5-R4)
要支援1		686人	722人	744人	22人
	構成比	10.84%	11.36%	11.75%	
要支援2		876人	857人	858人	1人
	構成比	13.84%	13.48%	13.55%	—
要介護1		1,497人	1,527人	1,482人	△45人
	構成比	23.65%	24.02%	23.41%	—
要介護2		1,136人	1,112人	1,060人	△52人
	構成比	17.95%	17.49%	16.74%	—
要介護3		789人	794人	824人	30人
	構成比	12.46%	12.49%	13.01%	—
要介護4		802人	839人	848人	9人
	構成比	12.67%	13.20%	13.39%	—
要介護5		544人	506人	516人	10人
	構成比	8.59%	7.96%	8.15%	—
合 計		6,330人	6,357人	6,332人	△25人

令和6年度版霧島市保健福祉の概要

(2) 高齢化率の推移

高齢化率は年々上昇している。



霧島市・県 令和元・3～5年 県推計人口 令和2年 国勢調査（年齢不詳除く）：全国 総務省ホームページ 推計人口

2 事業実施状況

施策の方向 (1) 貧困等生活上の困難に直面する女性等への支援

具体的施策① 就業・生活の安定を通じた自立の支援

具体的施策② ひとり親家庭等への経済的支援及び自立の支援

129	「生理の貧困」支援の実施（市民課）															
	<p>令和4年度中に県の生理の貧困支援促進事業により生理用品の支給を受けた（1240パック）</p> <p>○今年度の配布実績は県からの支給品161パック及び市民団体からの寄付品（個数不明）7月末をもって全て配布終了</p> <p>配布箇所：市役所本庁、国分図書館・隼人図書館、溝辺総合支所（トイレ内設置：非対面） 本庁市民課、各総合支所市民生活課窓口（窓口でカード提示による配布：対面）</p> <p>○トイレ各個室や設置洗面台周辺には、生理の貧困のポスターを掲示により、生理の貧困問題の周知を図る。</p> <p>配布終了後は、次年度以降の防災備蓄の生理用品の有効活用に向けて、安心安全課と調整を進めた。</p>															
130	生活困窮者自立支援事業の実施（こども・くらし相談センター）															
	<p>貧困等の生活困窮者等の経済状況や心身の状態などの相談窓口として、相談しやすい体制づくりに努め、関係機関と連携しながら、適切な就労や家計改善などの支援・情報提供を行った。■新規相談件数 170件</p>															
131	児童福祉に関する各種手当の支給（子育て支援課）															
	<p>父又は母がいない家庭、父又は母が一定の障害の状態にある家庭などで、児童を監護又は養育している方に児童扶養手当を支給した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度 (3月末現在)</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手当支給対象者</td> <td>1,397人</td> <td>1,357人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度 (3月末現在)	R4	R5	手当支給対象者	1,397人	1,357人									
年 度 (3月末現在)	R4	R5														
手当支給対象者	1,397人	1,357人														
132	ひとり親家庭医療費補助事業の実施（子育て支援課）															
	<p>ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上を図るため、ひとり親家庭の父又は母及び児童、父又は母が一定の障害の状態にある家庭の父又は母及び児童、父母のいない児童に対し、医療費の一部を助成した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母子世帯</td> <td>1,370世帯</td> <td>1,337世帯</td> </tr> <tr> <td>父子世帯</td> <td>123世帯</td> <td>106世帯</td> </tr> <tr> <td>養育者世帯</td> <td>7世帯</td> <td>8世帯</td> </tr> <tr> <td>父又は母に一定の障害のある世帯</td> <td>—</td> <td>1世帯</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	R4	R5	母子世帯	1,370世帯	1,337世帯	父子世帯	123世帯	106世帯	養育者世帯	7世帯	8世帯	父又は母に一定の障害のある世帯	—	1世帯
年 度	R4	R5														
母子世帯	1,370世帯	1,337世帯														
父子世帯	123世帯	106世帯														
養育者世帯	7世帯	8世帯														
父又は母に一定の障害のある世帯	—	1世帯														

133	母子寡婦福祉資金事業への支援（子育て支援課）						
	<p>鹿児島県が行う母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦（配偶者のない女子で、かつて母子家庭の母であったもの）の福祉の増進のために必要な資金の貸付について、一部の事務の移譲を受けて相談や申請書等書類の受付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受付件数</td> <td>5 件</td> <td>6 件</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	R4	R5	受付件数	5 件	6 件
年 度	R4	R5					
受付件数	5 件	6 件					
134	母子家庭自立支援給付金の支給（子育て支援課）						
	<p>ひとり親家庭の父又は母の能力開発の取組を支援するため、雇用保険制度の教育訓練給付の指定講座及び就業に結び付く可能性の高い講座等の受講に係る費用の一部助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給者数</td> <td>2 人</td> <td>1 人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	R4	R5	受給者数	2 人	1 人
年 度	R4	R5					
受給者数	2 人	1 人					
135	高等技能訓練促進費の支給（子育て支援課）						
	<p>ひとり親家庭の父又は母が、看護師・介護福祉士等の資格取得のため養成機関で修行する場合に、一定期間生活の安定を図るための費用を支給した。</p> <p>■対象資格： 看護師・美容師・WEBデザイナー・社会福祉士</p> <p>■受給者数 11人</p>						
136	母子生活支援施設への入所事業の実施（こども・くらし相談センター）						
	<p>生活困窮やDV被害等の事情によって、母子を保護する必要が生じた場合に、母子からの申込みに応じて、母子生活支援施設への入所の措置を行い、生活の確保と自立の促進を図った。</p> <p>■入所措置世帯・・・5世帯15人(令和6年3月末現在)</p> <p>■退所人数・・・10人※年度内入所退所世帯あり</p>						

具体的施策③ 子ども・若者の自立に向けた支援

137	多様な進路・職業選択を推進する指導の実施（学校教育課）
	<p>■管理職研修会や進路指導担当者会等において、一人一人の個性を尊重しながら、進路指導を充実させるよう指導した。児童生徒に、自らのキャリア形成の方向性を自覚させるとともに、主体的な進路選択に向けて、よりよい生き方を目指していこうとする姿勢を培っていく</p> <p>■また、「キャリア・パスポート」を活用することで、児童生徒が自分の取組を振り返りながら、自分の将来を築いていこうとする気持ちを育てている。</p> <p>■霧島しごと維新による企業見学会において、工業中心のコースに女子生徒が興味をもって参加していた。また、その生徒が自分の学びを学校に還元するために、社会科の自由研究としてまとめ、市の特選作品として表彰された。</p>

138	ロールモデルに関する講話等の実施（学校教育課）
	<p>■霧島しごと維新事業の「君の夢を叶える高校フェア」、「企業見学会」、「10年後の自分探し」を通じて、児童生徒一人一人が自分の個性や能力、得意なことなど、自分について深く考えることで、今後の生き方や将来の自分の姿について想像し、主体的に進路を選択しようとする意識を高めることができた。</p> <p>「KIRISHIMA GLOBAL ACTIVITY」については、台風のため中止となった。</p> <p>■君の夢を叶える高校フェアでは、市内公立高等学校の在校生や卒業生で、地元企業で働く方々に御協力もらった。5校全ての学校で女性が発表した。10年後の自分探しでは、講師8グループ中4名が女性であった。</p>

施策の方向（2）高齢者、障がい者、外国人、子ども等が安心して暮らせる環境の整備

具体的施策① 高齢者の社会参画に対する支援

139	シルバー人材センターの活動支援（長寿介護課）																					
	<p>高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを目的に各種事業を実施しているシルバー人材センターへ補助金を交付し、また、センター運営及び会員増強等に協力するなど、高齢者の就業機会の確保・提供、生きがいの充実及び社会参加の促進を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シルバー人材センター会員数</td> <td>989人</td> <td>1,020人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	R4	R5	シルバー人材センター会員数	989人	1,020人															
年 度	R4	R5																				
シルバー人材センター会員数	989人	1,020人																				
140	老人クラブの支援（長寿介護課）																					
	老人福祉の推進を図るために老人クラブに対し補助金を交付し、また、市老人クラブ連合会等と協力して、老人クラブ活動のスムーズな運営、普及・発展を図った。																					
141	高齢者に対する学習の機会（社会教育課）																					
	<p>高齢者が教養を高めるとともに、相互の親和を深め、生きがいのある生涯を送るために、高齢者学級を開設している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申込者数</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舞鶴大学・大学院（国分）</td> <td>325人</td> <td>1,944人</td> </tr> <tr> <td>隼人シニア大学（中央・地区）</td> <td>574人</td> <td>1,332人</td> </tr> <tr> <td>溝辺みそめ講座</td> <td>24人</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>横川高齢者学級</td> <td>20人</td> <td>88人</td> </tr> <tr> <td>牧園ふれあい講座</td> <td>39人</td> <td>175人</td> </tr> <tr> <td>福山高齢者大学（まきば・たぎり）</td> <td>24人</td> <td>193人</td> </tr> </tbody> </table>		申込者数	延参加者数	舞鶴大学・大学院（国分）	325人	1,944人	隼人シニア大学（中央・地区）	574人	1,332人	溝辺みそめ講座	24人	95人	横川高齢者学級	20人	88人	牧園ふれあい講座	39人	175人	福山高齢者大学（まきば・たぎり）	24人	193人
	申込者数	延参加者数																				
舞鶴大学・大学院（国分）	325人	1,944人																				
隼人シニア大学（中央・地区）	574人	1,332人																				
溝辺みそめ講座	24人	95人																				
横川高齢者学級	20人	88人																				
牧園ふれあい講座	39人	175人																				
福山高齢者大学（まきば・たぎり）	24人	193人																				

142	介護保険ボランティア制度事業の実施（長寿介護課）
	<p>介護保険ボランティアポイント制度を実施し、高齢者の地域活動やボランティア活動への参加を促進するため、社会福祉協議会を中心にボランティア養成講座を行うとともに、介護施設、学校、育児施設や団体など受入施設の確保を行った。</p> <p>■ボランティア登録者数 326人(男64人・女262人)</p> <p>■研修受講数 233人(男41人・女192人)</p>
143	地域のひろば推進事業の実施（長寿介護課）
	重点課題5-（1）-113の再掲

具体的施策② 高齢者の生活自立支援

144	コミュニティバス等の効果的な運行（地域政策課）
	<p>(1)公共交通（路線バス、鉄道など）が整備されていない交通空白・不便地域の高齢者等の移動手段を確保するためにコミュニティバス（ふれあいバス、デマンド交通、きりしまMワゴン）を運行した。</p> <p>■ふれあいバス運行事業（委託）</p> <p>①国分 9路線 ②牧園 7路線 ③霧島 2路線 ④溝辺 4路線 ⑤横川 8路線 ⑥福山 3路線</p> <p>■デマンド交通（委託）</p> <p>①霧島地区永水・向田地域 ②霧島地区狭名田・野上地域 ③溝辺地区有川・桑坂地域 ④福山地区佳例川地域 ⑤福山地区福山地域 ⑥福山地区福沢地域 ⑦横川地区山ノ口・今村植村地域、⑧牧園地区万膳地域</p> <p>■はやと循環ワゴン（委託）</p> <p>■きりしまMワゴン（委託）</p> <p>①国分・隼人中心市街地 ②溝辺（一部）</p> <p>(2)地域や利用者のニーズを踏まえたコミュニティバスの運行を行うため、バスへの乗込調査や各地区における住民座談会を開催した。</p> <p>■利用実態や地域のニーズ等を踏まえ、運行ルートや運行ダイヤの見直し、きりしまMワゴンの実証実験を行うなど、性別や年齢に関わらず、地域住民の外出機会や移動手段の確保に取り組んだ。</p>
145	高齢者に配慮した公共建築物のバリアフリー化の促進（建築住宅課）
	<p>高齢者等が安心して暮らせるよう、市営住宅の改修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東郷団地6号棟（24戸）・8号棟（24戸）外壁ほか改修工事 ・外壁落下防止工事 ・大野原団地8号棟（24戸）個別改善工事 ・台所・洗面所・浴室を三点給湯方式に改修 ・トイレ・浴室に手摺りを設置 ・グリーンビレッジ牧園小谷住宅緊急通報設備改修工事 ・緊急通報設備の更新（見守りセンサー、ガス漏れ感知器、火災警報器、非常押し釦、インターホン等）

145	高齢者に配慮した公共建築物のバリアフリー化の促進（教育総務課）
	<p>階段昇降機やスロープを設置することにより、誰もが利用しやすい学校となった</p> <p>階段昇降機設置 中学校1校</p> <p>スロープ設置 小学校3校 中学校1校</p> <p>車いす使用者が利用しやすいトイレへの改修 中学校1校</p>
146	認知症高齢者支援の推進（長寿介護課）
	<p>①地域の中で、日常的に認知症である方の見守りを行う認知症サポーターを養成した。</p> <p>■養成数：1,003名</p> <p>②もの忘れ外来受診券を発行し認知症の早期発見に努めた。</p> <p>■受診者数：18名</p> <p>③地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置、研修会はコロナの影響で実施無し</p> <p>④認知症カフェを3箇所設置。</p> <p>■開催回数：43回、延べ598名参加</p> <p>⑤認知症専門部会を設置、行政機関、市内医療機関との意見交換の場</p> <p>■実施回数2回（参加事業所 15箇所 延べ参加人数42名）</p>
147	地域生活配食事業の実施（長寿介護課）
	<p>日常的な見守りが必要な高齢者に対し、配食サービスの実施により、栄養改善及び安否確認を行った。</p> <p>■実績107,385食</p>
148	相談体制の充実（長寿介護課）
	<p>①総合相談業務</p> <p>・相談件数：2,323件</p> <p>②権利擁護業務</p> <p>・権利擁護に関する相談：71件</p> <p>③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p> <p>・介護支援専門員研修会：2回開催（189人参加）</p> <p>④介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務</p> <p>・介護予防支援件数：10,487件</p> <p>・介護予防ケアマネジメント件数：4,744件</p>
149	成年後見制度の普及啓発（長寿介護課）
	<p>高齢者等の判断能力や生活状況に応じ、成年後見制度を活用し、権利擁護支援の推進を図る。</p> <p>■実績</p> <p>・市長申立件数4件</p> <p>・後見人報酬助成件数8件</p>

具体的施策③ 家族介護の負担軽減

150	家族介護者等の負担軽減のための支援（長寿介護課）
	在宅高齢者等を介護している家族に対し介護用品（紙おむつ等）を支給することにより、在宅介護における家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減、また在宅高齢者等の在宅生活の継続と向上を図った。 ■令和5年度支給対象者：64名 （令和5年度末決定：100名〈内、年度内廃止36名〉）
151	介護に関する情報提供及び相談体制の充実（長寿介護課）
	①家族介護支援の取り組みとして、家族介護者交流会「この指とまれ」を開催。 ■テーマ：「家族介護者が知っておきたい生前対策と相続」（司法書士） ■開催回数：1回 参加人数：17名 ②介護に関する悩み事などを地域包括支援センターや地域密着型サービス事業者、居宅介護支援事業所等が窓口となって対応している。「まちかど介護相談所」として介護しやすい地域づくりに取り組む「霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー」を養成し任命している。

具体的施策④ 障がい者に配慮した自立支援と生活環境の整備

152	障がい者の雇用・就労の促進に関する啓発（障害福祉課）
	障害者自立支援協議会に設置された就労支援専門部会を通じて、就労支援事業所説明会を令和5年8月21日に開催し、性別を問わず障害福祉サービス提供事業所から個別での説明が実施され、事業所体験や利用契約に繋がるケースもあった。
153	障がい者就労施設等からの物品等の調達推進（障害福祉課）
	霧島市障がい者就労施設等からの物品等の調達方針を定め、性別を問わず、広く障害者就労支援施設から前年度の実績を上回る物品の調達に努めた。
154	障がい者に配慮した公共建築物のバリアフリー化の促進
	（建築住宅課） 障がい者等が安心して暮らせるよう、市営住宅の改修を行った。 施策No.145の再掲
	（教育総務課） 障がい者に配慮した公共建築物のバリアフリー化の促進 施策No.145の再掲
155	障害福祉サービスの充実（障害福祉課）
156	相談体制の充実（障害福祉課）
	市内事業所には、男女支援員が配置されており、利用者の希望により選択できる。今後も、障がい者が地域で自立して暮らせるように、日常生活や社会生活の支援に努めた。

157	障がい者への虐待防止のための普及啓発（障害福祉課）
	様々な虐待相談を受けるに当たり、性差を考えた対応を心がけた。 相談しやすい環境を確保し、虐待防止に繋がった。
158	成年後見制度の普及啓発（障害福祉課）
	性別を問わず、障がい者の利益や財産を守る制度であることを周知し、利用しやすい環境を整え、権利擁護に努めた。

具体的施策⑤ 外国人が安心して暮らせる環境の整備

159	外国人の人権に関する啓発（市民課）
	法務省作成の「外国語人権相談ダイヤル」広報用ポスターを掲示し、リーフレットを市民課戸籍記載台に設置した。 ■英語、中国語、韓国語、フィリピン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、スペイン語、インドネシア語、タイ語（日本語含め11か国語）
160	国際理解に関する交流の場の実施（市民活動推進課）
	①市民レベルにおける国際交流活動を推進する霧島市国際交流協会に補助金を支出。 ②国際理解に対する学習会の一環として、イベントを開催した。（一部）English Hour（初級、中級、上級）、韓国カルチャー講座、国際交流員とおしゃべり会、中国語教室（初級、中上級） ■参加者数：387人
161	外国人のDV被害者からの相談への対応（こども・くらし相談センター）
	日本語が理解できない外国人からの相談はなかった。 ・外国人で日本語の理解が困難である場合は国際交流担当課と連携し、相談を実施する体制を取っている。
162	国際理解教育の充実（学校教育課）
	小・中学校共に、外国語の授業において、コミュニケーション能力を高めると同時に、ALTとのやり取りや教科書の内容理解を通して、国際理解の充実を図った。また、学校によっては、総合的な学習の時間や学校行事等の中で外国の文化に触れる機会をもち、多様性について考え、国籍や性別に関係なく平等に接する児童生徒の育成につながった。外国籍で、日本語能力が十分でない家庭やその子供の対応については、各学校と連携しながら情報共有を行った。

具体的施策⑥ 子どもに対する暴力・虐待等の根絶

163	子どもに対する暴力根絶に向けた広報啓発（こども・くらし相談センター）
	重点課題4-（1）-No.83の再掲
164	家庭児童相談員等による相談対応（こども・くらし相談センター）
	重点課題3-（5）-No.66の再掲

具体的施策⑦ 防犯・安全対策の強化

165	防犯灯、安全灯の整備（安心安全課）
	<p>市内の暗がり無くし、市民が安心して暮らせる安全なまちづくりを目指し、自治会が集落内に防犯灯を設置する事業費の補助金を霧島市防犯組合連合会に交付した。</p> <p>■防犯灯設置数・・・新設163基、既設LED交換406基 生徒の通学路の安全を確保するため、主に集落間の明かりのないところに安全灯を設置した。</p> <p>■安全灯設置数・・・9基（内6基はライトアップ作戦による設置）</p>
166	防犯パトロール等の実施（安心安全課）
	<p>市民が安心して暮らせる安全なまちづくりを推進するため、子どもの登下校時の見守り活動や日常生活（通勤、買物、散歩）を通じて自主的にパトロールする防犯パトロール隊の活動を継続的に推進した。</p> <p>なお、霧島市発足直後に結成された防犯パトロール隊が多く、パトロール用品の再支給に係る要望があったことから、平成29年度からパトロール隊活動支援事業を開始し、令和5年度は、希望のあった50団体に防犯関連グッズを支給した。</p>

具体的施策⑧ その他困難な状況に置かれている人々への支援

167	人権相談・女性の人権ホットラインの周知・広報（市民課）
	重点課題4-（1）-86の再掲
168	民生委員・児童委員活動事業の実施（保健福祉政策課）
	<p>■単位民生委員児童委員協議会の相互交流や、連合会において合同研修を実施し、霧島市の民生委員児童委員協議会として、レベルアップを図った。</p> <p>■関係団体との交流を図り、信頼関係を深め、地域に根差した民生委員・児童委員活動の展開を図った。</p> <p>■地域包括支援センター等専門機関との連絡調整を深め、見守り活動の担い手として霧島市の地域包括ケアの構築に寄与した。</p> <p>■災害に備え、要援護者を支える体制づくりへの協力を行った。</p> <p>■児童委員、主任児童委員活動を推進した。</p> <p>■「なり手不足」解消に向けた民生委員・児童委員活動に関する理解と広報を強化した。</p>
169	生活困窮者への相談と支援の実施（こども・くらし相談センター）
	<p>貧困等の生活上の困難に直面する女性等が、経済状況や心身の状態、就労状況、生活環境などについて相談できる窓口として、相談しやすい体制づくりに努めた。また、関係機関と連携しながら、適切な就労や家計改善などの支援・情報提供を行った。</p> <p>■新規相談件数（女性） 107件</p>

3 数値目標の推進状況

項目	現状値 (計画策定時)		現状値		目標値	
	数値	年度	数値	年度	数値	年度
こども・くらし相談センターにおける「自立支援計画」の作成件数	12件	2022	17件	2023	25件	2027
地域のひろば推進事業実施件数	105件	2022	99件	2023	130件	2027
障害者自立支援事業のうち就労継続支援を利用している実人数	666人	2022	746人	2023	930人	2027